

令和7年度 学校評価総括表

香芝市立香芝東中学校

教育目標	感性豊かな心としなやかな身体を育む		総合評価			
運営方針	生徒一人ひとりを大切に、何事にもチームで取り組む					
前年度の成果と課題	本年度の重点目標					
◇学習指導要領を意識した教育目標を具体化する方策を明らかにし、実践していく必要がある。 ◇生徒たちは落ち着いて学校生活を送っている。不登校生徒の実態がより複雑・深刻化し、見えにくくなっており、継続的かつ組織的に支援に取り組む必要がある。 ◇学校行事は、職場体験も含めて多くのものを実施できたが、今後は行事の効果と精選のバランスを検討していく必要がある。 ◇コミュニティ協議会と連携し、熟議を行い実効性のある活動にしていける必要がある。	(1)生命と人権を尊重し、人間性豊かな心を育てる	B				
	(2)自分を大切にすると共に、まわりの人を大切にすることを育てる					
	(3)確かな学力の定着を図り、「生きる力」の育成に努める					
	(4)善悪の判断力と道徳心を高め、正しいことを実践する行動力を育てる					
	(5)体力の向上に努め、心身の健全な育成を図る					
	(6)地域や社会のことを知り、より良い社会を目指す心を育てる					
教育活動や分掌等	評価項目	具体的方策・評価指標等	評価	成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等	学校関係者評価
学校運営	教育目標	生徒一人ひとりを大切にすることを基軸に据えた具体的な教育目標の設定	B	学習指導要領を目標達成を意識した教育目標を掲げ、教職員や生徒をはじめ保護者や地域住民にも共有していきたい。	◇学習指導要領の理念を理解し、教育目標を各教科・領域においてさらに具体化する方策を検討したい。	◇保護者の回答率の向上、分析の細やかさを評価します。今後、学校運営の向上と改善にいかして欲しい。
	組織・校務分掌	働き方改革を実現するためのより効率的な組織や校務分掌の構築	B	校務支援システムやSSSが定着し働き方改革は一定前進した。今年度もスリム化を念頭に置いた校務分掌の見直しは進められなかった。	◇教職員が子どもと向き合う時間を十分に保障するため、SSSや校務支援システムをうまく活用しながら働き方改革をさらに進めていきたい。	
学校評価	自己評価	生徒および保護者へのアンケートをもとにした自己評価の実施と公表	A	生徒と保護者に加え、教職員もアンケートを実施し、職員会議で分析結果を共有し、HPIにより公表した。	◇複数回の呼びかけと、Web方式での保護者アンケートで8割程度の回答率を得ることができた。記述式での回答部分には前向きな意見や改善を期待する意見が多数出されており、それを意識した学校づくりを進めたい。	◇どの学年も落ち着いた雰囲気の中で授業が進められていてよかった。
	学校関係者評価委員会	学校関係者評価委員会による評価の実施と公表	B	自己評価結果を学校関係者評価委員会に提示し、HPIにより公表した。		◇不登校生徒への学習支援などを今後も継続・充実して欲しい。
学習指導	基礎学力の定着	小グループでの学び合いによる「低学力」層の引き上げ	B	講義型の授業中心から、グループ学習による学び合い・学力向上の取組を行うことができた。楽習部やタブレット端末によるドリル演習などを活用した学力定着を目指した。	◇学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びのある授業の実現に向けて、改めて確認し合う機会を設け、今後の授業づくりの方向性について模索していきたい。	◇中一ギャップへの対応を充実させるために、小中の連携をより進めて欲しい。 ◇中学校3年間で生徒たちの成長には驚くことが多い。ひとえに先生方の日々の取組の成果だと思ふ。 ◇学習評価について、保護者の関心が高い。より丁寧な評価の説明をお願いしたい。また、進路に関する情報の提供も早いうちから周知してほしい。
		「楽習部」による日常的な学習支援の実施	A	学習面に課題を抱える生徒が自主的に参加し、教員やボランティアの支援を受けながら、学習を進める場として定着している。		
	指導方法の工夫・改善	学習指導要領の目的実現に向けた自己研修と学年による授業研の実施	B	GIGAスクール構想により、教科の枠にとらわれずOJTが積極的に行われたことで、タブレット端末を使った新しい形の学びを導入することができた。	◇生徒へのタブレット端末導入による教育のICT化に順応するため、教職員同士の学び合いを一層進め、職員室での授業づくりについての会話をより活性化させ、すべての生徒にとって確かな学びのある授業の創造をめざしていきたい。	
		小グループを中心とした主体的・対話的な学びのある授業の創造	B	小グループによる学習を昨年度よりも多く実施できた。学校全体での取組に拡大するとともに、ICTを活用した指導方法の工夫・改善を考える必要がある。		
	学習意欲の向上	問題解決的な学習による探求的な学びの創造	B	生徒が疑問を抱き、夢中になって取り組める課題づくりなど教員の指導力を向上させ、探究的な学びの実現に向けた取組を進めていきたい。	◇管理職による授業観察をさらに充実させるとともに教科ごとの授業研究を定期的に行い、若手教員の指導力の向上をはかっていきたい。	
生徒指導	規範意識の醸成	学校・社会のルールやマナーを守る生徒の育成	B	およそ9割の生徒が学校・社会のルールやマナーを守り、規律正しく生活できていると回答している。守れていない生徒にはいけない指導を行った。SNS等への対応力を高める必要がある。	◇不登校の要因は様々であるが、本校の重要な教育課題であると捉え、一人ひとりに丁寧に寄り添っていき、タブレット端末を活用して学校とつながる機会を持たせる取組をさらに広げていきたい。 ◇生徒一人ひとりに教室が「自分の居場所である」と実感させたい。また教室が「学びが保障された安心空間である」という授業づくりを目指したい。この取組を進めることで不登校生徒を少しでも減らしていきたい。また、フリールームでの柔軟な対応も継続したい。	◇自分から挨拶してくれる中学生が多くなってきている。生徒会の取組や先生方の指導の表れだと思ふ。 ◇いじめ対応については、法律や方針と現実との乖離に苦勞されているところもあると思うがしっかりと対応を今後も継続して欲しい。
	いじめ・不登校対策	いじめの未然防止と不登校対策のための組織的な取組の推進	A	教育相談窓口の役割を明確に役割分担を定め、見守りや安心感の醸成に努め、およそ8割の生徒が安心して過ごせると回答している。出席停止生徒や長期欠席者に対する学力保障などの取組をさらに進めるとともに個に応じた柔軟な対応を充実させたい。		
特別活動	学校行事の充実	オープンスクールなどの機会を通じた地域に開かれた学校づくりの推進	B	体育大会、オープンスクール、校内音楽会を開催し、Live配信も行った。学校行事の充実に向けて、一定取組を進められた。今後も行事の充実と精選に取り組んでいくことが必要である。	◇新しい教育活動の在り方を考え、これまでの慣例にしばられることなく、学校教育目標の達成の手段となりうる行事を可能な限り実施していく。	◇学校や教師が子どもを厳しく叱ることが難しくなってきた。家庭の教育力を高めていただけるように、家庭・地域との連携の強化を図る必要がある。 ◇学校がコミュニティに協力してもらいたいことを提案すれば、地域は協力できると思う。先生方の負担を減らすことにつながるのではないかと。
		クラスのなかまと認め合い、支え合い、高め合える学校行事の実施	B	修学旅行や校外学習、音楽会などの学校行事等を実施し、限られた時間の中で工夫し効果的に練習した。どの生徒も積極的に練習し本番に取り組み、クラスのつながりを深めることができた。		
	生徒会活動・委員会活動の活性化	生徒の自主性を伸ばす生徒会活動や委員会活動の活性化	B	生徒会が企画立案した行事など主体的に生徒会活動や委員会活動に取り組み、自治力を身につけた。今後も、自己有用感を高める方策として行って行きたい。		
	キャリア教育	3年間を見通した系統的なキャリア教育の実践	A	1年生では2年生の職場体験に向けて学習に取り組んだ。2年生では職場体験を地域の強直を得ながら昨年に引き続き実施することができ大きな効果を得ることができた。		
	部活動	仲間と共に活動し、充実感や達成感を味わえる部活動の実施	B	週2日以上以上の休養日を設けるなど生徒の健康に留意しながら、効果的な指導を行うことで十分な成果を挙げることができた。平日の活動の検討と充実にも努めたい。		
開かれた学校づくり	学校情報の発信	学校情報・学校だより・学年便り・行事計画等のホームページへの掲載、ミマホームの配信	B	ホームページを随時更新し情報発信のツールとして定着させた。保護者への案内はホームページ掲載やミマホームを活用した。	◇学校運営協議会で立案した方針や方向性を、コミュニティ協議会で熟議を行うことで実効性を持たせて、1つ1つ着実に実現させていきたい。	◇部活動の地域移行がスムーズにいくことを期待している。 ◇コミュニティスクールとして、これまで以上に学校とPTAやコミュニティ委員が協力し合い、地域に根ざした学校にしていきたい。
	家庭・地域との連携	コミュニティスクールの始動と活動内容の充実	B	学校運営協議会は5回の会議を行い、学校の現状について説明し、理解を得た。コミュニティ協議会の協力や支援を得つつ学校運営を行うことができた。		

※評価はA・B・C・Dの4段階

令和7年度

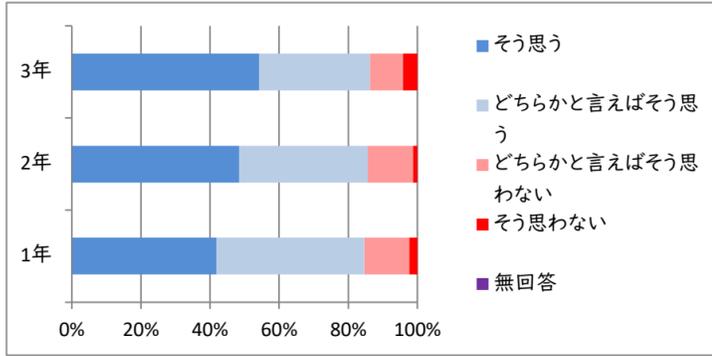
学校評価(校内)

調査期間	令和8年1月23日(金)～2月4日(水)			
回答数(回答率%)		1年	2年	3年
	生徒	176(93%)	166(86%)	190(93%)
	保護者	130(69%)	137(71%)	175(87%)

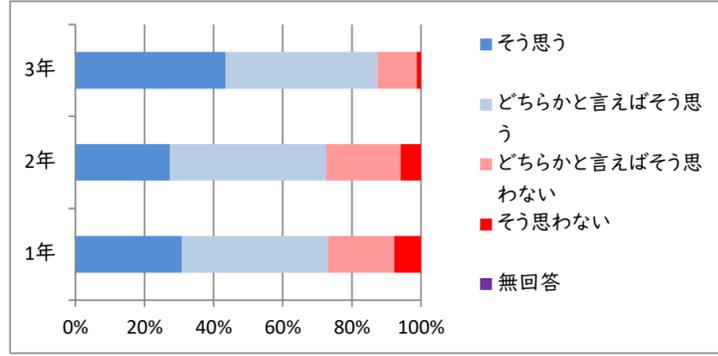
香芝市立香芝東中学校

設問1

【生徒】あなたは、授業中にわからないことがあっても、先生に質問したり、友だちに教えてもらったりして解決できている。

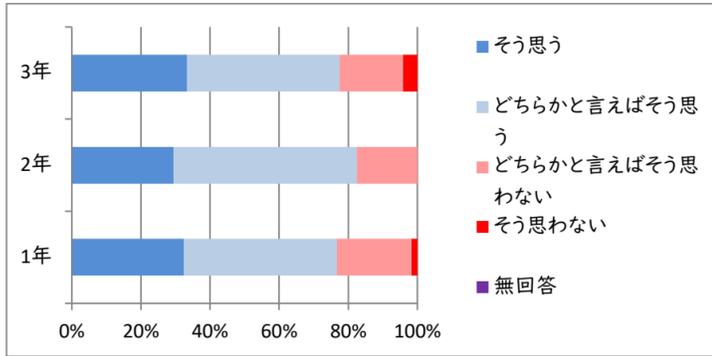


【保護者】あなたのお子さんは、学校の授業の内容を理解できている。

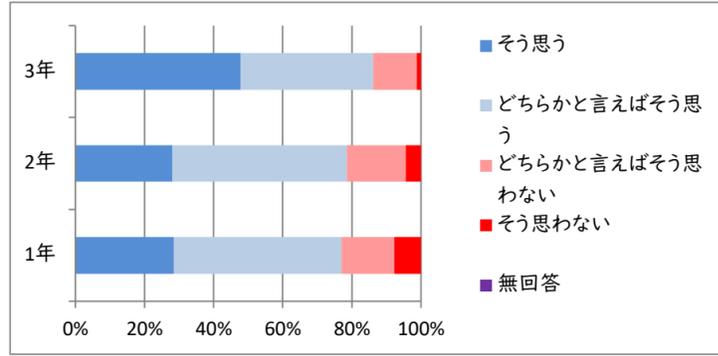


設問2

【生徒】あなたは、授業中に与えられた課題が難しくても、あきらめずに粘り強く取り組んでいる。

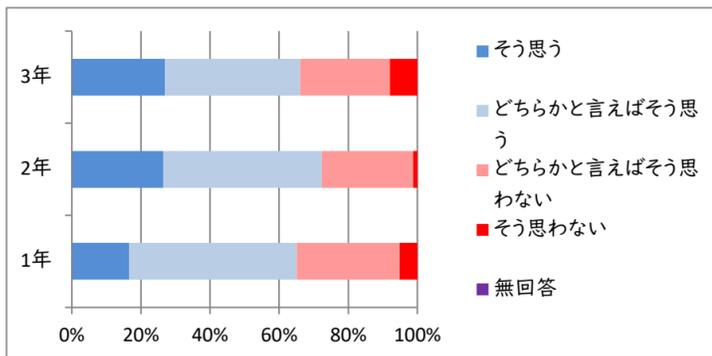


【保護者】あなたのお子さんは、与えられた課題が難しくても、あきらめずに粘り強く取り組んでいる。

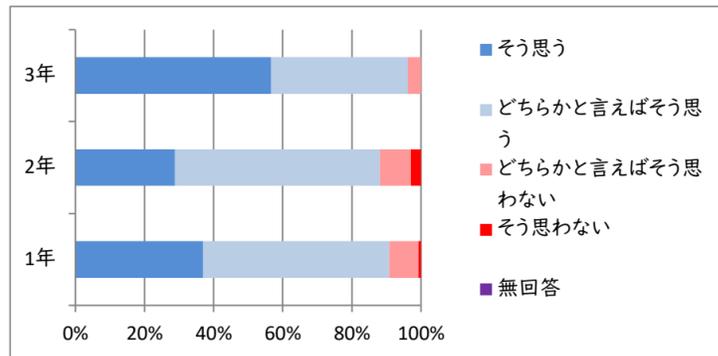


設問3

【生徒】あなたは、学習の目当てや見通しをもったり、学習状況を振り返ったりしながら、工夫して取り組んでいる。

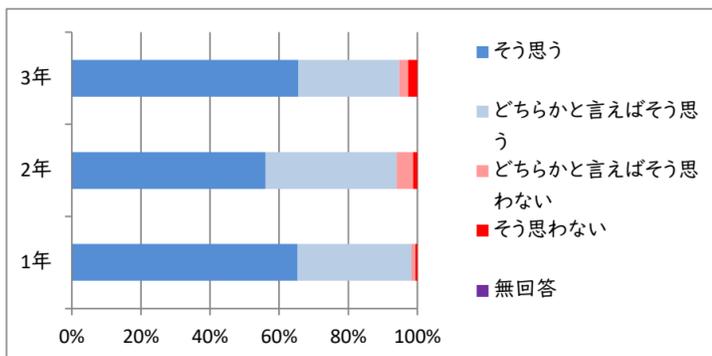


【保護者】あなたのお子さんは、学習の目当てや見通しをもったり、学習状況を振り返ったりしながら、工夫して取り組んでいる。

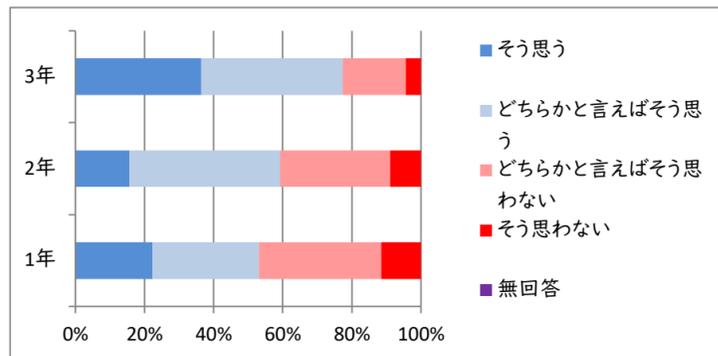


設問4

【生徒】あなたは、道徳の授業などで、命の大切さや考え方・生き方について、深く考えることができています。

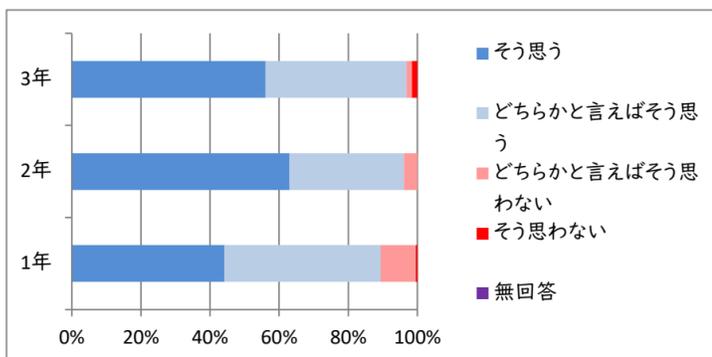


【保護者】あなたのお子さんは、道徳の授業などで、命の大切さや考え方・生き方について、深く考えることができています。

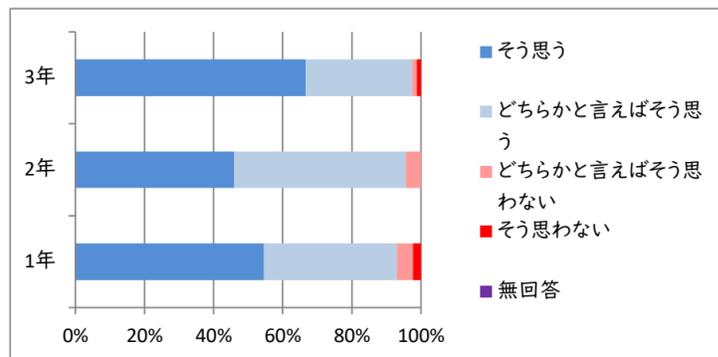


設問5

【生徒】あなたは、学校や社会のルールを守り、規律正しく生活することができています。

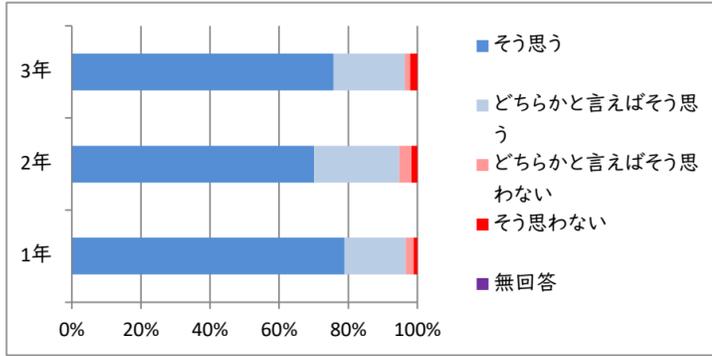


【保護者】あなたのお子さんは、学校や社会のルールを守り、規律正しく生活することができています。

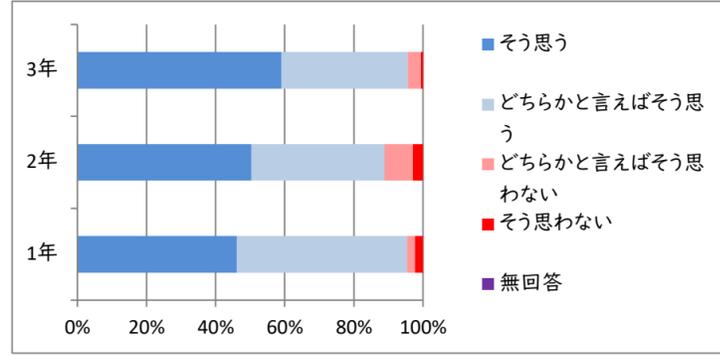


設問6

【生徒】あなたには、励まし合ったり注意し合ったりできる、信頼できる友だちがいる。

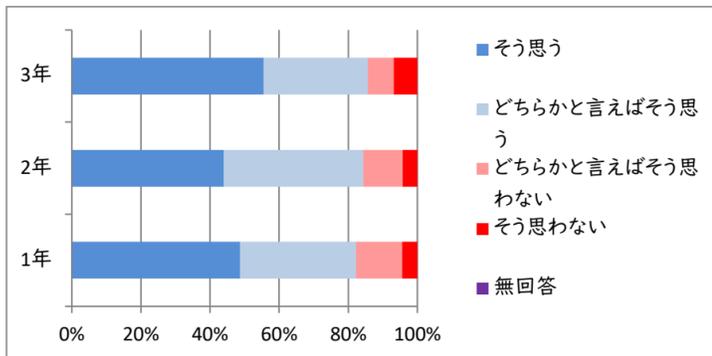


【保護者】あなたのお子さんには、励まし合ったり注意し合ったりできる、信頼できる友だちがいる。

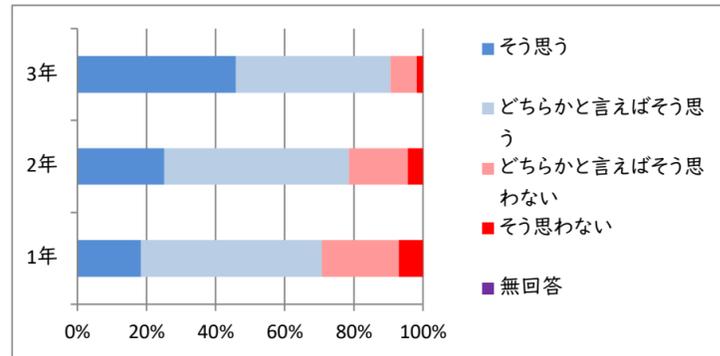


設問7

【生徒】あなたには、困ったときや悩んでいるときに相談できる、信頼できる先生がいる。

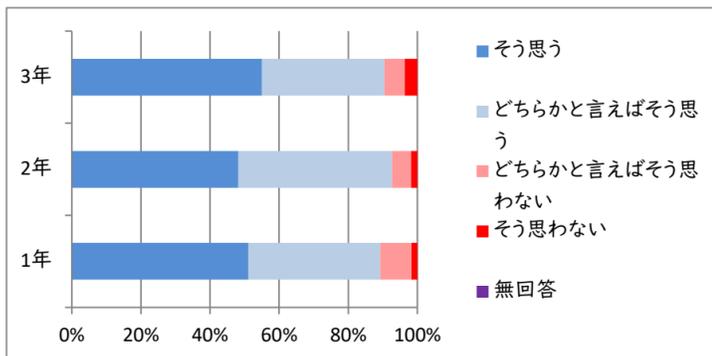


【保護者】あなたのお子さんには、困ったときや悩んでいるときに相談できる、信頼できる先生がいる。

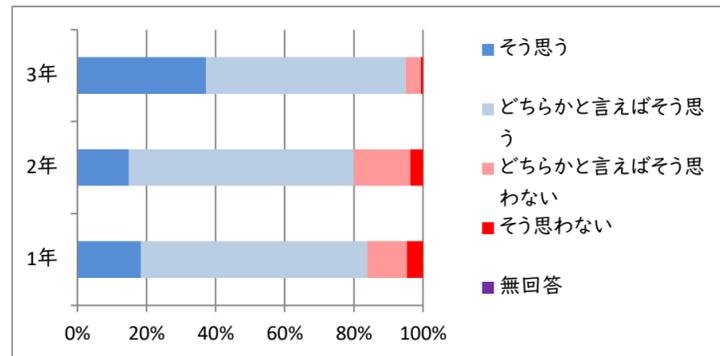


設問8

【生徒】香芝東中学校は、いじめや暴力がなく、安心して過ごせる学校である。

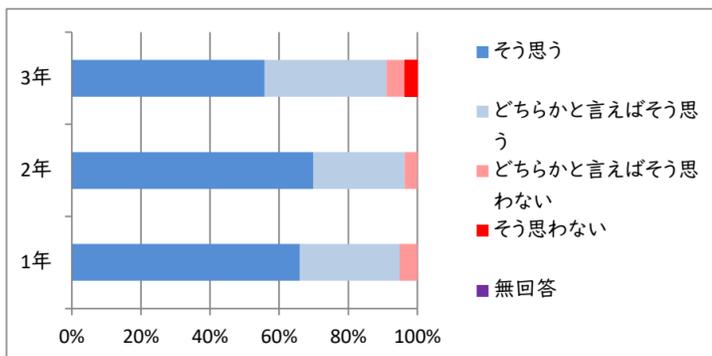


【保護者】香芝東中学校は、いじめや暴力がなく、安心して過ごせる学校である。

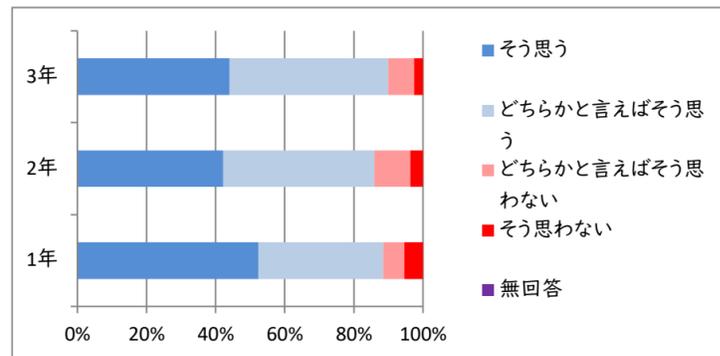


設問9

【生徒】あなたは、体育の授業や部活動で体力が向上し、健康に生活することができている。

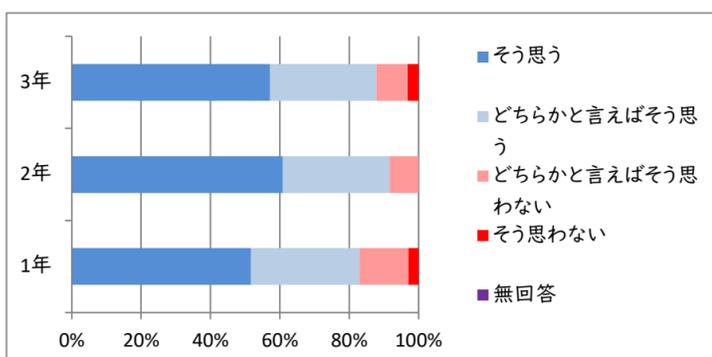


【保護者】あなたのお子さんは、体育の授業や部活動で体力が向上し、健康に生活することができている。

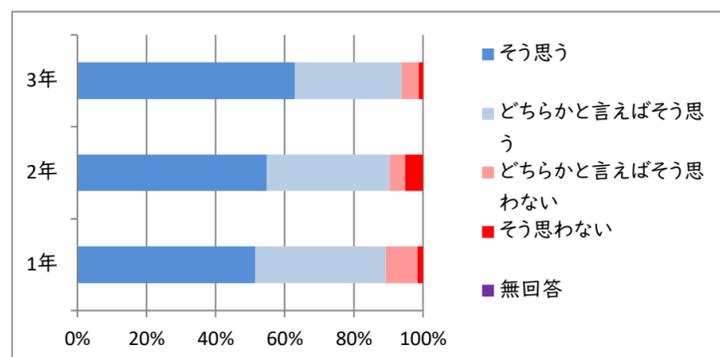


設問10

【生徒】あなたは、体育大会などの学校行事、学年や学級の活動、生徒会の活動などに積極的に参加している。

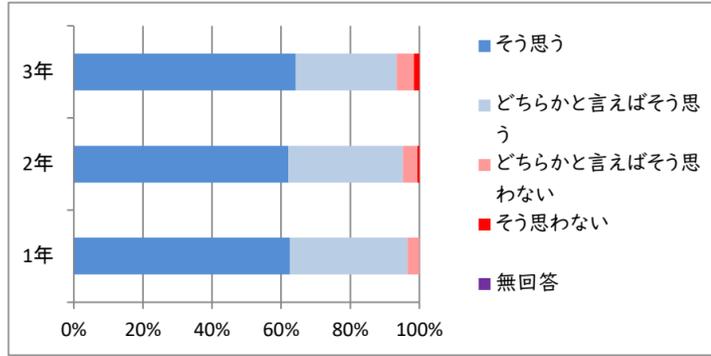


【保護者】あなたのお子さんは、体育大会などの学校行事、学年や学級の活動、生徒会の活動などに積極的に参加している。

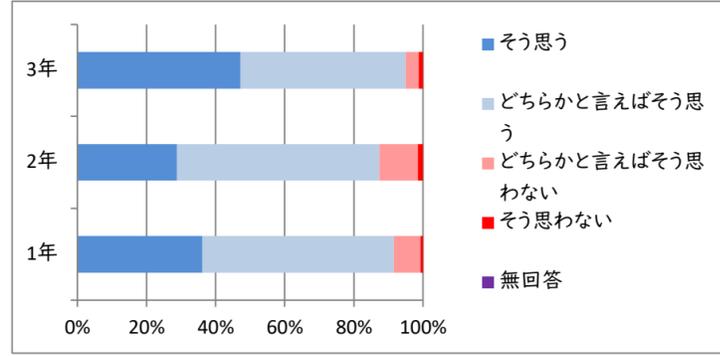


設問11

【生徒】香芝東中学校は、友だちと力を合わせ、いろいろなことにチャレンジできる学校である。

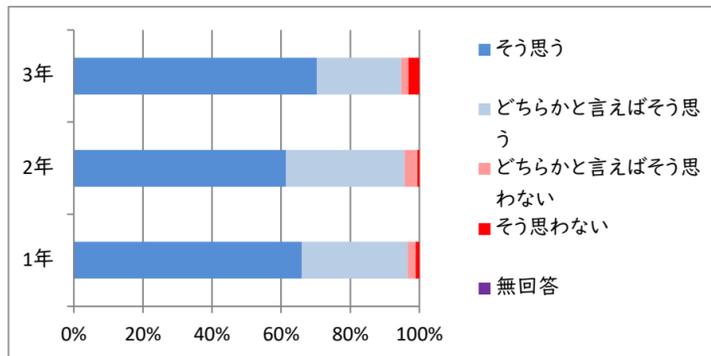


【保護者】香芝東中学校は、友だちと力を合わせ、いろいろなことにチャレンジできる学校である。

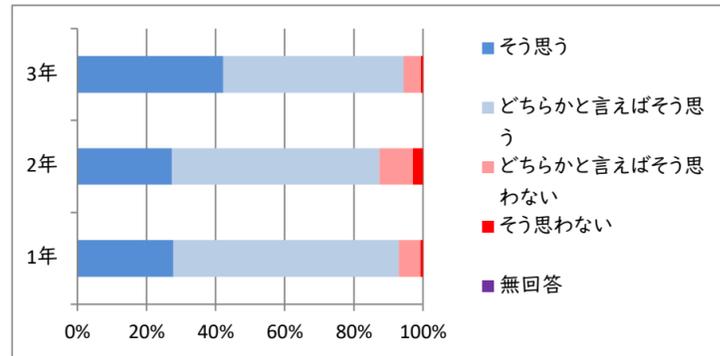


設問12

【生徒】香芝東中学校は、施設や設備が整えられていて、安全に生活できる学校である。

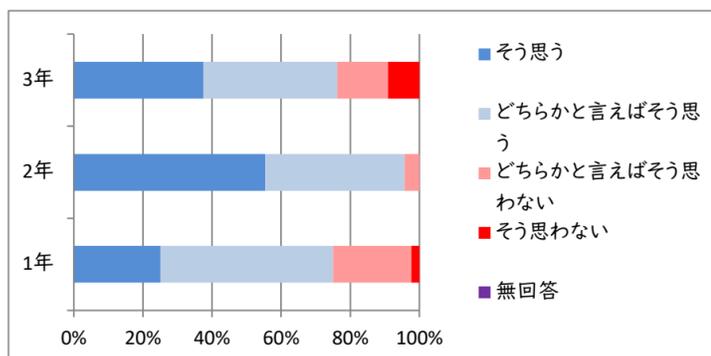


【保護者】香芝東中学校は、施設や設備が整えられていて、安全に生活できる学校である。

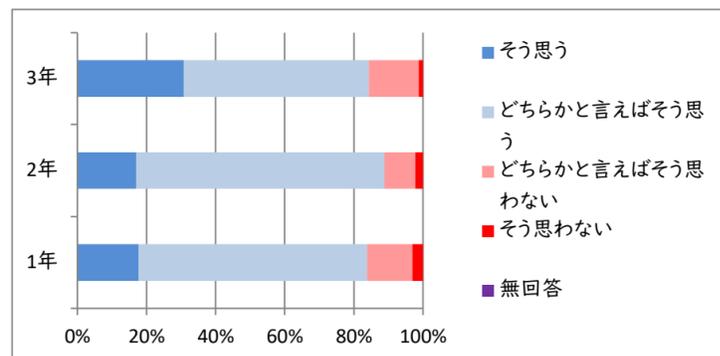


設問13

【生徒】香芝東中学校は、授業でタブレットを積極的に活用していましたか。



【保護者】香芝東中学校は、授業でタブレットを積極的に活用していましたか。



設問 1 4

【生徒】 あなたにとって「こんな学校だったら楽しく通える」と思える学校とは、どんな学校ですか？
具体的に書いてください。

いじめのない学校です。(多数)	学校全体が明るくてにぎやかな学校
・みんなが明るくて、元気に挨拶などを交わし合える人が多い。 ・みんなが「この先生の授業はわかりやすい」と思える先生がいる。 ・自分の好きな授業がたくさんある。	環境が整っており、フレンドリーな学校。
・給食がおいしい。 ・学校行事が独特	規則正しく信頼できる先生と友達がいる学校
I think that it's important for me to have friends. それできるならい	休日でも学校に来たいと思う学校。
ある程度の自由があり、誰一人も楽しくないと思わせられるような学校。	給食なり好きな教科や友達などちょっとした楽しみや、学校行事を目標にすることで楽しく通えると思う
いじめなどの被害がでないために発言に気をつけたりする。	決まりや規則がありつつも、一人一人が責任を持って暮らせる学校
いっぱい友達がいる学校	喧嘩があってもすぐ仲直りできる学校
いつもが毎日できる学校	嫌なことをする人がいなくて悩み事があったら先生や友達に相談しやすい環境の学校
お互いのことを思って思いやりのある行動ができる学校	厳しい校則がないこと
お互いの違いをそれぞれ認め合うことで楽しく通えら	個性が溢れている学校
お互いの努力を認め合える学校	互いに励まし合い、相談し合える学校。
お互い助け合える友達がいる学校	好きなことが決まりを守りながらたくさんできる学校。
きれいな学校	行事がいっぱいある学校。
クラスの仲がよく、安心できる場所がある学校	香芝教育委員会がもっとちゃんとしたら楽しいです
クラスみんなが一致団結できて楽しく過ごせる学校	今のままでも楽しい学校だと思います
クラスみんなが元気に過ごす	今のよう感じ
クラスみんなが仲のいい学校	今の香芝東中学校
クラス全員で輪になってグループによって分かれな	今の東中のような学校。
クラス全体や学年で仲が良い学校	今日も楽しかったと改めて感じられる学校
このまま変える必要はないと思います	困った時に先生が助けてくれる。
たくさん思い出ができる学校	思ったことを言える学校
どんなときでも笑いあえる友達がいる学校	自分のやりたいことを全力で応援してサポートしてくれ
ノリが良くて面白い学校	自分の意見や気持ちを尊重してもらえる学校
みんなが「自分らしさ」を出せる学校	自分の頑張りを認めてもらえる学校
みんながみんなのことを認め合える	自分の居場所があり、自己肯定感を得られる場所
みんなが過ごしやすい学校	自分らしく過ごせる学校
みんなが規律をしっかり守れて自由が大いにある学校	自由で平和な学校
みんなが協力しあい安心できる学校生活が送れる学校	手を挙げるのには勇気があるので、授業で先生に当ててもらえる学校。
みんなが協力しあい積極的に何でもすれば楽しくなると	授業が楽しいと思える学校
みんなが助け合える学校	授業が楽しく、毎日ちょっとしたことで笑い合えるいい友達と先生がいる明るい学校。
みんなが笑い合って、毎日通いたいと思える学校	授業が面白い
みんなが誰にでも平等に優しくしている、友達に対する裏表がない	授業に真剣に取り組めて、してはいけないことはせず、安全で安心で笑顔でいられる学校のことだと思います。
みんなが仲の良い学校	助け合って生活する学校
みんなが仲良く、困ったことがあれば先生や友達に相談して、一緒に考えて解決することができる学校	笑顔があふれている学校
みんなが仲良く、笑顔で、困ったときに助けてくれる友達がたくさんいる学校。	信頼できて笑い話のできるような友達がいる学校
みんなが仲良く笑顔が沢山の学校	信頼できる人がいる学校
みんなが明るく過ごしている学校	信頼できる先生がいてクラスの人との関わりを増やすために行事ごとがある学校
みんなが優しい学校	人の個性を分かち合い、いじめやいじりのない学校
みんなが優しく、喧嘩がない学校	人への「からかい」がない
みんな楽しく助け合いや全力で行事に取り組める学校	人間としてまともな人達が安心して通える学校
みんな協力して行事を頑張ったり、クラスでの何気ない会話が一番楽しく過ごせると思っています。	生徒が主体的な学校
みんななかよくハッピーな学校	生徒のペースに合わせたルール守れる学校
みんなの意見を大切に考えた校則	先生がいい人

みんなの仲が良くメリハリがついている学校	先生が生徒のことを理解してくれる学校
みんなの力を合わせてできる勉強やスポーツができる学校	先生が面白い学校
みんなの和が広く、友達同士の境界がないこと	先生が友達のようにおもろい学校
メリハリがつけられる学校	先生と信頼が作れるか。クラスが最悪でも身近な大人を信頼できる人がいれば精神がなんとかなるから。
ルールがしっかりとしている学校	先生の授業がわかりやすい学校。
ルールやマナーをしっかり守れる学校	先生も男女平等に接してくれる学校
挨拶し会える学校	相談出来る友達や先生いること
挨拶や、ありがとう、ごめんをきちんとと言える学校	誰でも気軽に話しかけられる、いじめがゼロな中学校。
安心、安全な学校、友達と仲良く過ごす学校	誰にも手伝ってくれる学校
安心できて、行きたい思える学校	誰もが気を使わずに苦しいとき悲しいときにそのような気持ちを伝えられる人がいたり、場を明るくしてくれる人がいると楽しく通えることができる学校ではないかと思
安心できて自分の意見を言うことができる学校	誰もが思いやりを持って、安心して過ごすことのできる学校。
安心できるクラスがある	男女や学年関係なく皆が分け隔てなく接しあっている学
一人ひとりがそれぞれの個性を大切にでき、お互いを高め合っている学校	仲のいいともだちや面白い授業をしてくれる先生がいる学校
一人ひとりが思いやりを持ち想像力のある学校	朝起きたときに「学校に行きたくない」と思わないような学校。 一人ひとりが尊重されて嫌な気持ちをする人がいない学
一人ひとりが思いやりを持てる学校。	当たり前のように笑っていられる学校。
一人ひとりの意見を聞いてくれる学校」	当たり前を大切にできる学校が楽しく通う頃のできる学校だと思います。
一人ひとりの個性が活かされる学校	悩みがあっても、前に進んでいける学校。
一致団結して一人一人大切にしてもらえる学校	部活が強い
一番は友人たちと喋ったり、一緒に学び、協力し合っ て、なにか一つの目標に向かって進み続けることができ	部活などを楽しく行える学校
何事もみんなで取り組める	毎朝学校に行くのがたのしみと感ぜられるようになる学校
課題に一生懸命取り組むことが恥ずかしくない学校	毎日、友達と喋っておいしい給食を食べれること。
学校に行ったら友達を楽しく会話できる学校	毎日挨拶ができる学校
学校に登校して楽しいと思えるような学校。	毎日体育がある学校
友達とたくさん遊べる学校	目標を持って通える学校
友達と笑いあえる学校	友達がいる学校

<p>【保護者】地域の学校として、どのような学校であってほしいと思われませんか。具体的に書いていただけるとありがたいです。(任意回答)</p>
生徒の事を第一に考えてくれる学校あってほしい。
生徒も先生も行事や勉強に一生懸命取り組める本当に素敵な校風だと思うので、今の姿がのびのびと過ごせる学校
色々な個性を尊重する学校であって欲しい。
質の高い先生にご指導頂ける学校であってほしい学校によってはその資質が無いことで生徒に与える影響もあると耳にするから。
東中は喜ばしいことに真面目な学生が多く、学力も高いと聞くので、生徒が楽しく益々興いじめがあった場合、それを隠すのではなく、きちんとあったと言ってくれる学校
地域柄などもあるかと思いますが、先生方に少し古い考えや、対応をされる方がいらっしやるように思います。研修などされていると思いますが、ハラスメントなども更に勉強勉強も大切ですが、友達を思いやり合い、楽しく安心して過ごせる学校生活、そして部活動であってほしいと思います。私達保護者の目の届かない学校生活の中でも、できるだけストレスを感じることなく、勉強に・部活動・友達関係に前向きに取り組んでほしいと考
子供が自ら頑張れるような環境を作ってくださっていると思います。
子供が進んで学んでいきたいと思わせるような学校であってほしいと思います。
地域の人達に卒業したことを誇りに思ってもらえる学校
子どもたちのことを第一に考えてくださる。学校であってほしいと思います。
子どもたちのための学生生活であってほしいと思います。
子供たち同士のコミュニケーションを増やす為の授業やイベントを企画推進してほしい。
保護者や地域の方々との距離が近い学校が理想ですが、放課後のクラブ活動の見学開放
兄弟が他の学校に行っていたので、東中の良さ(特に先生があたたかく、子供がいい意味でのびのびがなされる雰囲気)をすごく感じています。いいところばかりですが、しいてあげるとすれば、周りの人にあいさつできる子(例えば保護者等が学校にいたら率先して挨拶)たち
今と同じく安心して、かよえる、学べる(さまざま失敗もありながら)学校
スポーツにも勉強にも熱心に取り組むことができる模範的な学校
子供たちに誠実な学校であってほしいと思います。
生徒の特性を見極め子供達の良いところを多角的に見て指導できるような学校、先生であれば良いと思う。私立の学校よりいろんなタイプの子供がいて、そこが良いところだと安心して過ごすことができる学校であってほしいです。
どうしても全て見えない部分はあると思いますが今の環境に不満はないです
保護者との密な連絡体制が整っている。学校での説明会など、昼間の開催。
子どもたちが安心して学び、成長できる場所
盗撮とか問題が多々起きている世の中、利用しやすい更衣室を作ってほしい。
今もそうですが、子どもたちが落ち着いて積極的に学校生活を送り、地域から大事にされ
学校が楽しいと思える勉強や部活を一生懸命できる環境があって、指導いただける先生方
地域に開かれた学校であってほしいです
学校で起こっている問題がある場合、きちんと開示して欲しい。オープンな学校であって
子供達が安心して、生き生きと学校生活を送れる場所。人は色々な考えや意見があると、お
熱中症やケガや病気の際の予防、また起きた時の対処を的確にできるよう教育を含めお願
開かれた学校、生徒と先生の関わり方や生徒と生徒(他学年とも)の繋がり等を大切に
地域とのつながりのイベントがあればもっといいと思う
学校ごとに対応が違うのはおかしいと思うので、地域で統一してほしい。
安心して楽しく過ごせる学校
透明性と適度な生徒への関わり
担任もほかの先生方も生徒にも1人1人誰にでも偏りのない対応で接して頂ける環境であっ
礼儀正しく挨拶をきちんとできる子達を育む学校
落ち着いた環境の中で、安心して学べる学校であってほしい。
安全で安心に通える学校。生徒たちが多感な時期に充実した学校生活を送れる場であって
子供達が伸び伸び過ごせるあたたかい学校。
同市の中学生とも交流できる機会があれば良いかと思います。
明るく元気に挨拶ができるようになる学校
いまのままオープンであってほしいと思います。
地域の人達に卒業したことを誇りに思ってもらえる学校

生徒も教師も生き生きと過ごし、行事に丸となる姿がある学校:東中は教師のチームワークが素晴らしく、生徒に良い影響を与えてくださっている。

生徒も教師も生き生きと生きて、行事を全力楽しみ、盛り上げられる学校。まさに東中で生徒一人一人の事を学年で共有し、生徒と一緒に楽しみ、喜び悲しみ、精一杯支えて下さる素晴らしい先生方に教えて頂いてもうすぐ三年が過ぎようとしています。東中は厳しくてなかなか着いて行けないと言われ、取り残されるのではないかと親子で不安に思いながら入学しましたが、学年の先生方や他の先生方もいつも声をかけて下さり、励まし導いて下さったので無事卒業できそうです。子供が東中に入学できて本当に良かったです。これからは生徒がのびのびと楽しく活動でき、自信を持って将来へ向かって行ける学校であってほしい。

地域の環境を活かした素朴で楽しく支え合える先生や仲間がいる学校であってほしい。

優しく思いやりのある子供たちがのびのび生活できる学校

時の流れに柔軟に対応できる学校であっていただきたいと思っています。

いつも感謝していますが、この中学は地域の方々と良い関係を築き、生徒や卒業生に対して温かく見守り、社会生活で必要な対人関係やルールを学ばせてもらえる学校だと思って部活動や勉強にも熱心に励む生徒さんや、子どもたちを思い熱く指導して下さる先生方がいらっしゃる素敵なお学校だと思っています。子どもは香芝東中に進学して本当に良かったと毎日頃言っております。

その魅力があまり地域に伝わっていない気もするので、例えば地域の小学校との交流や、地域の人と世代を超えた交流があればいいと思う

地域とのコミュニティを大切に、交流を深めていく。例えば職場体験の充実。

子供たちもその家族も気軽に相談できたり、話し合えたりできる学校

ボランティア学習なども取り入れて、地域に根差した学校であってほしいと思っています。

オープンであり、子供達が、有意義に学校生活を送れるようで、あってほしいです

卒業した後もOBとして部活などに顔を出しやすい学校

地域とのつながりを大切にす一環として、ぜひ「あいさつの習慣化」に力を入れていただきたいです。

立哨当番の際に中学生の様子を見ておりますが、無言で通り過ぎる生徒が目立ちます。

設問15

【保護者】本校のいじめ・不登校への対応、支援が必要な生徒への対応、特別支援教育についてのご意見がございましたらご記入ください。(任意回答)

教室、保健室以外に昼休みや、学校に行きづらい時に1人でも気軽に行ける場があるとい常に通学されない生徒さんに対しても他の生徒が普段通りに接したり、又その生徒さん自身も他の生徒と違和感なくコミュニケーションとっていると聞いた事があるので、自然体時代背景なのか、不登校の生徒が割といるように聞いているので、どのような取り組みを不登校児がクラスに多いように感じます。

不登校やクラスの荒れなどは、担任の力量がダイレクトに反映されるので、副担任、学年不登校の子が行事には参加していたりするのを見ると、きっと先生が働きかけて下さる不登校の際に、熱心に先生に声をかけて頂きました。テスト前に学級でノートを開けてあげて頂いた子どももありました。

しかし、直前ではなかなか、一気にすることも出来ませんでした。

担任にというわけではなく、各教科での対応として、ノートやワーク、提出物について、学年のネットのスペースなど、進捗状況のお知らせや、直接の声かけなどがあると、ありがたいと思いました。

不登校ながら、諦めずに学習ペースを保ちやすいと思いました。お忙しいとは思いますが、

また、子どもしか、その情報にアクセス出来ないスペースであると、親は声かけのタイミングも分からない為、親にもアクセスできるように、そういった情報を共有させてほしい

どのような段階でどんな受け皿があるのか、あらかじめすべての保護者に開示してほしい

娘は不登校になったことがなく、学校が楽しいと毎日通わせていただき感謝しています。

もしも、我が子がいじめにあたり不登校であった場合は寄り添ってもらえることが1番大切なのかなと思います。悪い噂は聞かないので香芝東中学校は安心してます。

不登校の子が行事には参加していたりするのを見ると、きっと先生が働きかけて下さる娘が不登校になりましたが、担任の先生が細やかなサポートをして下さり感謝していま

見えないところで先生方は放課後もその子のために一生懸命フォローされています。とても熱心に生徒に向き合ってくださいっていて、大変な仕事の中いつも笑顔で日常を与えてく
不登校については、子どもたちも温かく見守ることができていると思います。いじめがあ
支援が必要な生徒さんへの関わりをわかくさ学級の先生だけでなく担任の先生との連携を
現在御校に在籍中の子どものことではないので恐縮ですが、小学生のきょうだい特別支
援学級に在籍しています。数年後の中学進学にあたって、今の小学校のように手厚い支援
は受けられないよと言われてまして不安を覚えています。小学校との支援内容の接続はどの
不登校の子どもに対し、他の生徒の皆さんと変わらぬ姿勢で、温かく丁寧に接し続けてく
ださったことに、心より感謝申し上げます。
不登校の子どもが心の内に抱える深い傷や絶望感は、周囲の想像をはるかに超えるもので
す。
学校に通えない状況への配慮という名のもとに距離を置かれたり、「どうせ無理だろう」
と言外に突き放されるような対応を受けたりした経験は、子どもの孤独感や諦めをいっそ
う深めてきました。
そのような中で、一人の生徒として貴校に迎えていただいてから、子どもは少しずつ、自
分の未来を大切に思えるようになってきました。
もっとも、環境が変わったからといって、すべてが劇的に元通りになるわけではありません
。心の傷は簡単に消えるものではなく、失われた誇りや希望も、以前とまったく同じ形
レベルは違えど、確実にいじめのような行為は日々横行していると思われま
す。
定期的ないじめ撲滅に向けての教育活動や、アンケート調査を行うなど、学校側がいじめ
について『常に目を光らせているぞ』とゆうわかりやすいアピールを生徒に向けて定期的
にして欲しいと思います。それにより、実際にいじめの頻度が減るなど、救われる被害者
いじめた側や周りの配慮だけではなく本人への配慮を1番に考えてほしい
特別支援の内容を具体化し、特別支援の対象でない生徒、親にも最低限の説明がほしい
いじめがあるかどうかは分かりませんが、外からでは分からないだけに、先生方には生徒
たちの様子をよく観察していただけたらと思います。
被害者が我慢したり泣き寝入りするのではなく、加害者側が指導や環境調整を受ける対応
いじめが発生した場合、被害者となる生徒が不利益にならないように人権や尊厳を守って
いじめがあると、聞いた。ちゃんと対応しているのか心配。その結果どうなったかも知ら
我が子の話とは違いますが、部活のなかでハブられたりする子がいるようです。来年より
部活も地域展開が始まり、先生方の目が行き届かない部分が出てくると思います。地域の
どこまでをいじめとするのか？大人からすると小さな暴言や悪戯も本気で嫌な子もいる。
嫌と言えずに笑ってやり過ごす子もいる中で、周りの子供達が『ダメ』と思って見てる事
を匿名でもいいので先生に伝えられる方法があればいいのでは？と思います。
部活動を通して、部内の人間関係や活動の中で、いじめにつながるのでは…と感じる言動

不登校生徒への配慮を優先された対応であったと理解していますが、学校アンケートに記載された内容について、本人の希望により保護者や関係生徒への共有が行われなまま半年が経過していたと伺いました。

結果として、当事者同士での認識のすり合わせや早期対応の機会が失われてしまったように感じています。

支援級に入ってなくても、何かしらある子もいると思うんです。
難しいんですが、変わった子と他の子から思われてるだけでなく、関わり方、特性？を子供達に伝えたほうがいい時もある気がします。

障害の程度に合わせて、カリキュラムを組んで頂いてるので、継続した支援をお願いしたい
いつも特別支援学級での学習を支援いただき、ありがとうございます。

担任に明確なイジメを訴えても事なかれ主義で取り合ってもらえなかった経験があり、
我が子を預けるのにまだ不安があります。風通しの良い学校、特別支援についても周りが
↑の問いの反面、体調等色々な理由でちょっと休養が必要（頑張りたいけど頑張れない）
なとき、思った以上に中学校生活は忙しいので、ゆるりと過ごせる何らかの別ルートもあ
れば良いなと感じます。（知らないだけでしたらすみません）
先生が生徒に対しての言葉遣い暴言を直してほしい

幼稚園や小学校の頃のような、親同士のコミュニケーションの機会も少ないため、子ども
経由でしか情報が伝わってこない。急遽学年集会が開かれたり、学級でも先生から頻繁に
指導(口頭注意)があったり、おそらく何かしら先生方の気になる動向があるのだろう。それ
いじめはないように思いますが、不登校や支援が必要な生徒意外にも、人に言えず何かわ
からないけど気持ちがモヤモヤする、などもしかしたら不登校になってしまうかもしれない
子どもたちが多くいるかもしれない現状です。今後の取り組みで、中学もクラス人数を
減らすことを改めてもらいたいですし、またカウンセリングや心の相談ができる保健室な
いじめに対してもいじめた側を守るのではなくいじめられてる生徒を守ってほしいです。

不登校も子供や親御さんにしっかり対応してもらえたらなと思います。
他の親御さんからいろいろ聞いているので不登校で教室とか入れない場合は別の部屋で勉強
デリケートな問題だとは思いますが、特にいじめや不登校に対して学校からどのような対
応がなされているか不透明でわかりにくいです。公開できる範囲で当事者だけでなく全体
しっかりと対応して下さいます。

偏見的な発言・見方をしている生徒も居ているようですが、難しいですね。

子供のことを考えて、先生方が話し合って連携をとってくださり、手厚く対応していただ
今年、ご配慮いただく場面がありました。深く感謝致します。

いじめは知らないです。

不登校への対応は、オンライン授業の融通がきけばもっと良かったです(今は通えている
ので不要になりましたが)。

特別支援はわかくさの先生がとても頼りになるので我が家にとってはよかったです。五月
どのような対応をされているのか、全くわからない。

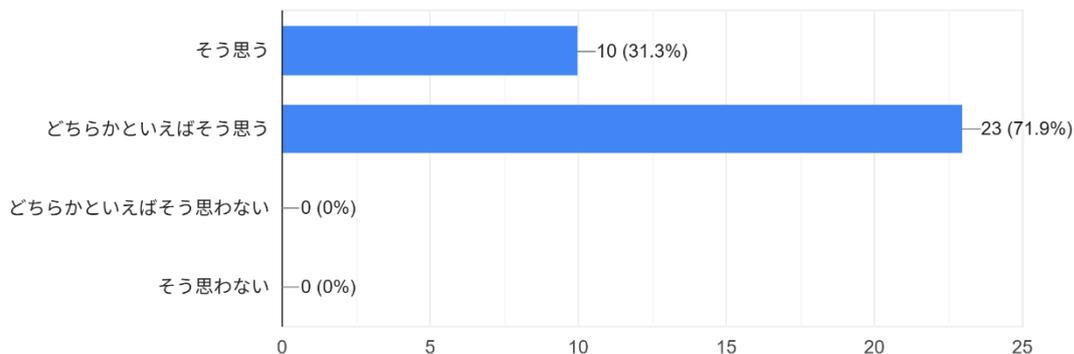
いつも生徒や保護者の訴えに、先生方の価値観や決めつけのみで対応しないでいただい
ていると感じています。いろいろな状況によるSNSや登下校時の通学路上のトラブルには、迅
速に行政や関係機関も入った組織的な対応をお願いしたいです。防犯カメラかないからで
スクールカウンセラーにもっと気軽に相談できるようになるといいのと思う。

日頃のご指導に感謝申し上げます。SNS利用について、学校と家庭が連携したさらなる指導
の強化をお願いいたします。家庭で管理していても、周囲との関わりの中でトラブルに巻
き込まれる不安が常にございます。

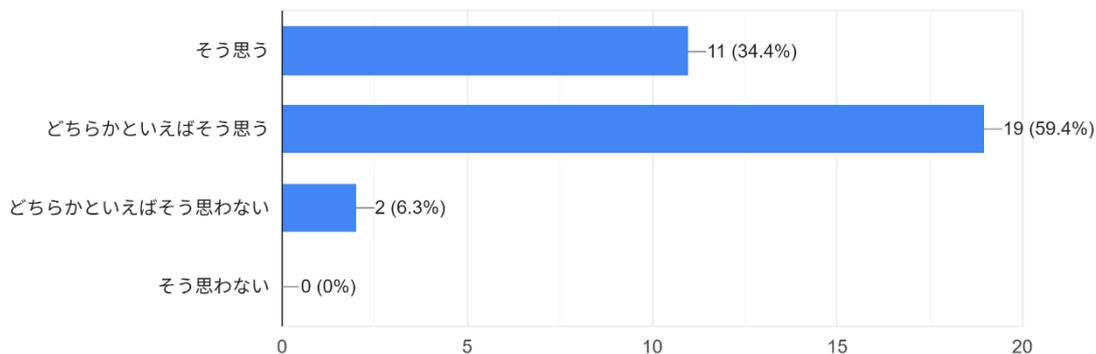
また、トラブル発生時の相談体制についてもご検討いただければ幸いです。電話でのやり
取りだけでなく、直接お会いして学年主任の先生も交えた話し合いができる場があれば、
より安心感に繋がると感じております。

令和7年度香芝東中学校 学校評価アンケート 教職員

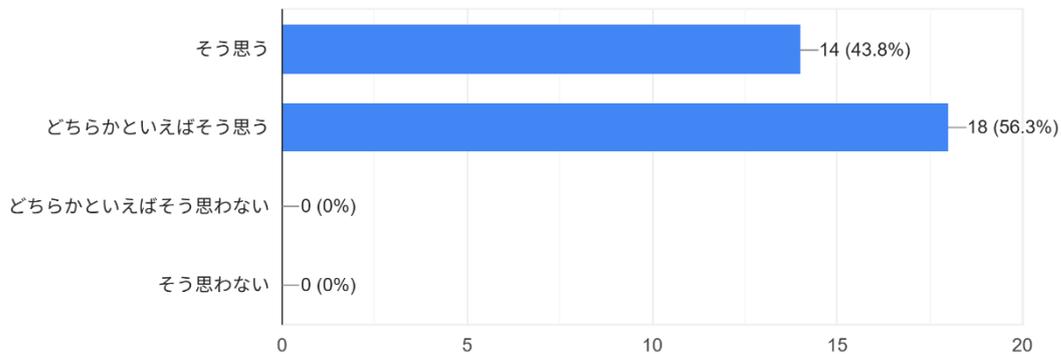
あなたは、生徒の主体的に学習に取り組む態度を育...に与える課題を工夫している。(学期に1つ以上)
32件の回答



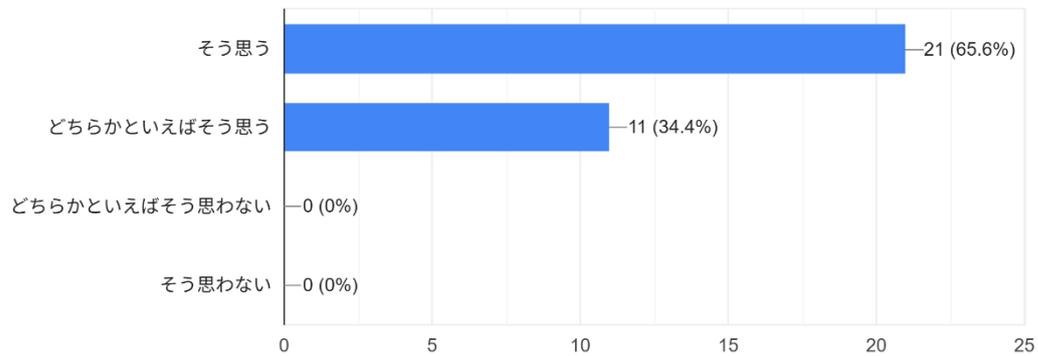
あなたは、生徒に学習のめあてを示し、見通しを...り返ったりできるよう工夫して取り組んでいる。
32件の回答



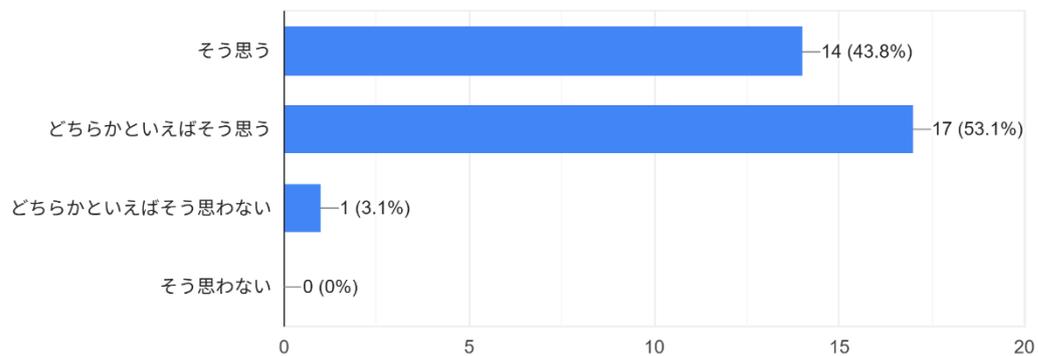
あなたは、道徳の授業などで、命の大切さや考え方...いて、生徒に深く考えさせることができている。
32件の回答



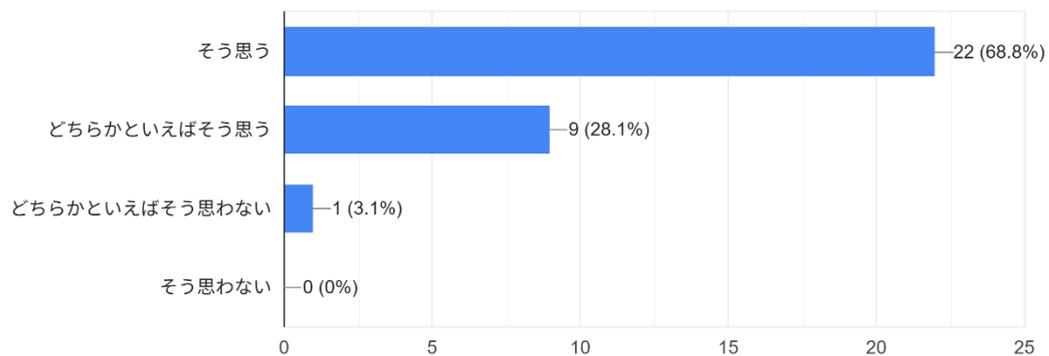
あなたは、生徒が学校や社会のルールを守り、規律...しく生活することができるように指導している。
32件の回答



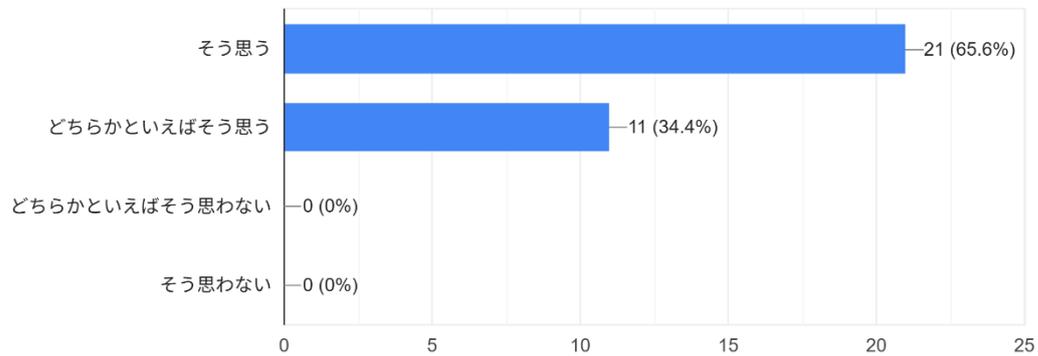
あなたは、生徒同士が励ましあったり注意し合っ...、信頼できる仲間集団づくりに取り組んでいる。
32件の回答



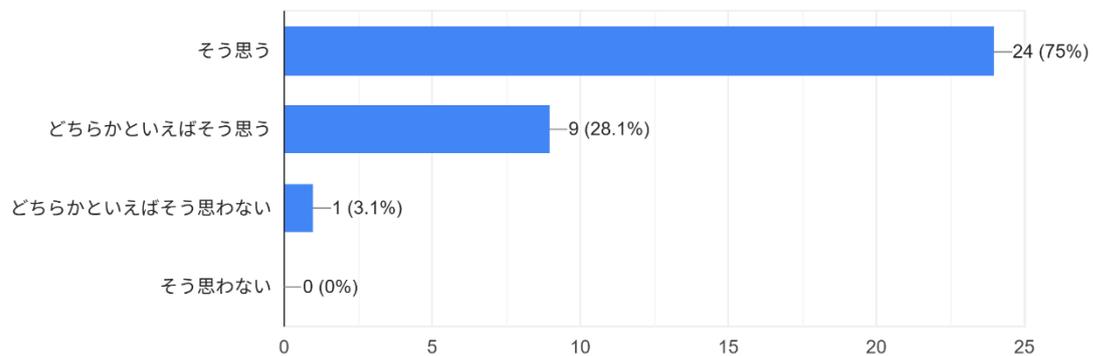
あなたは、生徒が困ったときや悩んでいるときに、生徒に寄り添い、積極的に相談に乗っている。
32件の回答



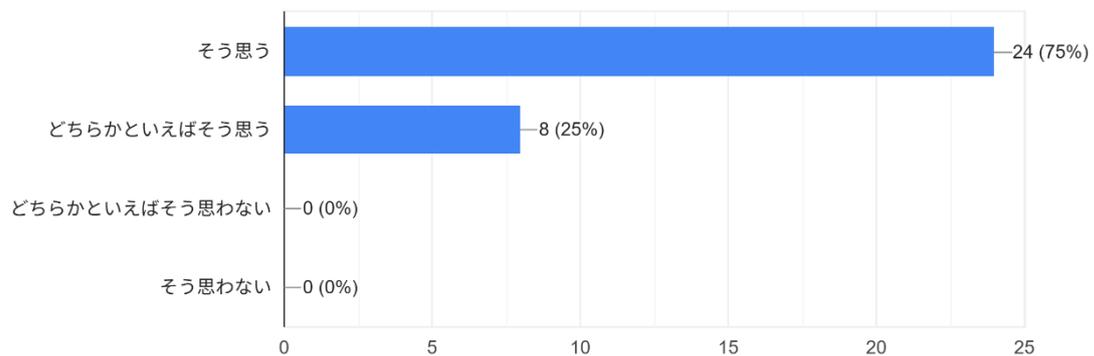
香芝東中学校は、いじめや暴力を許さない雰囲気があり、安心して過ごせる学校である。
32件の回答



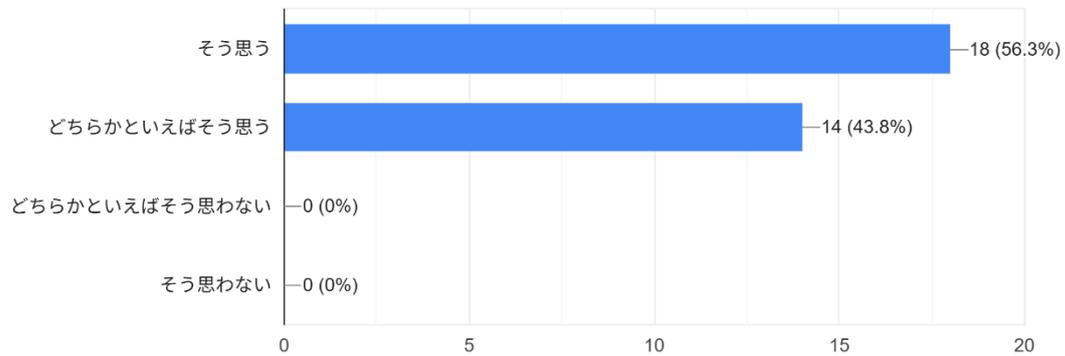
香芝東中学校の生徒は、体育の授業や部活動で体力が向上し、健康に生活することができている。
32件の回答



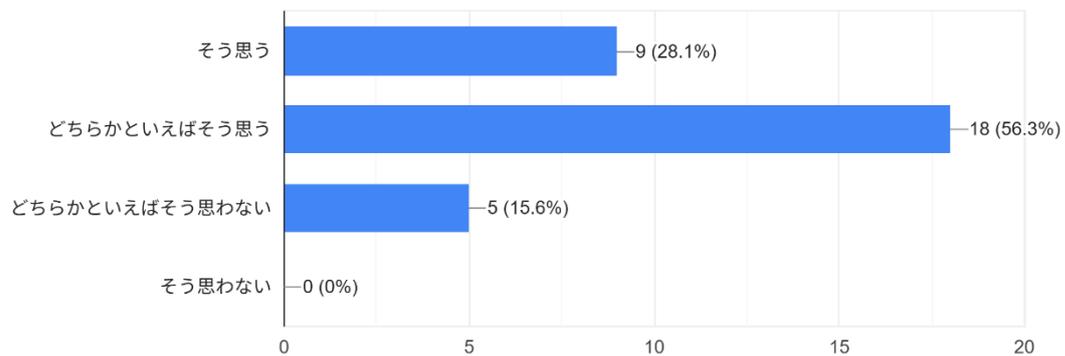
あなたは、体育大会などの学校行事、学年や学級...生徒が積極的に参加できるよう取り組んでいる。
32件の回答



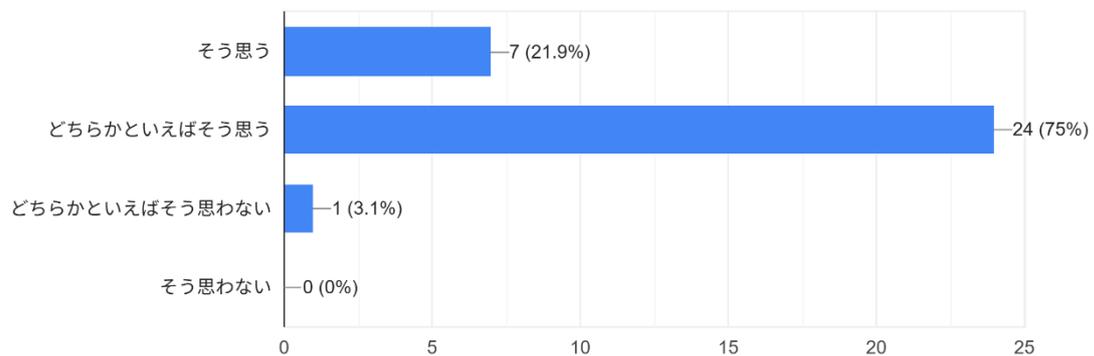
香芝東中学校は、友だちと力を合わせて、いろいろなことにチャレンジできる学校である。
32件の回答



香芝東中学校は、施設や設備が整えられていて、安全に生活できる学校である。
32件の回答



香芝東中学校は、授業に生徒がタブレットを積極的に活用している。
32件の回答



令和7年度 香芝東中学校 学校評価アンケート

【1】考察

今年度は、教育活動の活性化はもちろん、学校行事も職場体験を含む多くのものを実施することを基本としながら、精選、効率的に実施をできるよう検討を重ねた。

生徒一人に1台のタブレット端末が整備されていることが日常となり、出席停止中の生徒や欠席生徒等への学習保証をある程度実施できるようになり、教員のICT活用指導力のさらなる向上を図った一年であった。

今年度を振り返るにあたり学校評価アンケートを実施し、学習指導要領のねらいを意識した項目やICT活用についての項目を設けるとともに、保護者を対象に特別支援教育、いじめ・不登校への対応などについての項目を新たに設け、ご意見をいただくことで来年度以降の学校運営と学校教育の充実に生かしていければと考えております。

また、教職員対象のアンケートを実施し、生徒の回答と比較することで今後の指導の向上・改善につなげてまいりたいと考えております。

例年、3年生の保護者の回答率が低い傾向があり、多くの保護者のご意見をうかがうため各担任からの呼びかけとともにミマモルメで複数回案内を配信したことにより、保護者の回答率も昨年の58%前後から平均75%と大きく向上し、多くのご意見をいただくことができました。アンケートの結果を全教職員に周知し、生徒、保護者とも肯定的な回答が多いことに満足せずに、否定的な回答にしっかりと向き合い、改善していく取組の充実を実践していくことが大切であると考えております。

1. 学習に関する設問(設問1.2.3.13)

今年度も一斉授業のほか小グループによる学び合いを取り入れる実践を行うことができました。

設問1については、全学年80%以上が肯定的な回答をしており、教師との信頼関係、コミュニケーションの取れる学習集団が構築できていると思います。

設問2では、第2学年で肯定的な回答が増加し、粘り強く課題に取り組む力がついてきていると思われる反面、第3学年で昨年同様に否定的な回答に増加傾向が見られるので、今以上に生徒へのサポートを充実させるとともに主体性を高める取り組みが必要であると考えます。

設問3は、学習指導要領のねらいである「学習にめあてや見通しを持つ」＝「主体的に学ぶ」を意識したのですが、否定的な回答が多いと認識し、今後の学習面の課題と位置づけて取り組んでいきたいと思っております。

設問13のタブレットの活用については、第3学年では肯定的な回答が昨年同様よりも若干減少しました。第2学年ではキャリア教育などでもタブレットを活用したため大幅に肯定的な回答が増加しました。第1学年の否定的な回答の多さは、タブレットが日常的に活用されていることへの慣れの部分が数値としてあらわれているとも考えられますが、今後とも積極的に活用を進めるとともに、保護者にも取組の内容を周知していく必要があると考えます。

2. 規範意識に関する設問(設問4.5)

この設問については、**設問5**は例年同様に生徒・保護者とも肯定的な回答が90%を超え、本校の校風、風土をあらわす結果となったが、**設問4**の道徳などに関しては、例年とは異なり生徒は肯定的な回答が多いにもかかわらず、保護者は否定的な回答が多くなった。今後も命の大切さや生き方についてしっかりと学習させるとともに、様々な人権に関する取組を継続していかなければならない。また、学習や取組成果が保護者にも伝わるよう、実生活でも現れるよう、各自の生き方に直結する取組を充実させ実生活でもその成果を発揮できるようにする必要があると考えます。

3. 人間関係に関する設問(設問6.7.8)

どの学年も設問6の励まし合い信頼できる友人がいるという肯定的な回答が90%を超えており、日々の仲間づくりの成果があらわれていると思います。

設問7の相談できる、信頼できる先生がいると回答した生徒は、学年が上がるとともに増加している。昨年度よりも学年間での差は小さくなったが、今後とも生徒にしっかりと寄り添える体制づくりを教職員一丸となって充実させ、否定的な回答が0%になることをめざして取り組んでいくことが大切であると考えています。

保護者の回答の傾向としては、例年と同様の傾向で学年が上がることに肯定的な回答が増加しているが、第1学年から保護者との信頼関係を深められるように、家庭訪問や連絡体制の充実に努めなければならないと考えています。

設問8のいじめや暴力については、第2学年、第3学年の生徒では肯定的な回答が昨年度同様90%以上であり、問題行動やトラブルに対する対応に一定の成果があらわれていると思われる。一方、保護者の否定的な回答が20%前後ある学年もあることから、保護者の方々への連絡方法などの対応を検討し、信頼関係構築のための取組をより充実させていく必要があると考えています。

今後も保護者のご協力とご理解を得ながらすべての生徒が安全に安心して生活できる学校を目指してしっかりと取り組んでいきたいと考えます。

4. 学校行事等に関する設問(設問10.11)

今年度は、全校で取り組む行事、保護者参観等で学校での様子を見ていただく機会も多く設けることができました。

生徒が学校行事や学級活動に主体的に積極的に取り組んでいることが回答からも読みとることができ、学級活動だけでなく、生徒会や委員会、部活動でも一生懸命に取り組み、活躍してくれている場面も多く、設問11の「友達と力を合わせているんなことにチャレンジできる学校」であると90%以上の生徒、80%以上の保護者が回答したことから、多くの生徒がやりがいや達成感を感じることができていると思われれます。

5. その他の設問(設問9.12)

健康面については、概ね良好である。

部活動や体育の授業においても、体力の向上や健康的な生活につながっていると回答している生徒が80%を超えており、今後もさらなる体力の向上と健康の増進を目指した取組を進めていきます。

施設設備面では、開校42年を迎え、いろいろところで老朽化はしていますが、エアコンの設置、トイレの洋式化、体育館の屋根と外装の改修、体育館のエアコンの設置、など目に見える形での整備が進んでいることもあり、肯定的な回答が80%を超えています。ただ、保護者の記述回答で多くご意見をいただいた更衣室については、2か所用意していることを保護者や生徒に周知するとともに、使用する生徒を増やす取組を進める必要があると考えます。

今年度以上に、特別支援学級や通級での取組を広くお知らせすることが必要であると考えます。

【2】教職員、生徒回答比較

1. 全体的傾向の概観

本校における学校評価アンケートの結果からは、教職員・生徒の双方において、学校の教育活動や学校風土に対する肯定的評価が総じて高いことが明らかとなった。特に「安心して過ごせる学校」「人間関係の良好さ」「行事や活動への参加意欲」といった項目においては、教職員・生徒の認識が高い水準で一致しており、本校が心理的安全性の高い学校文化を一定程度構築できていることがうかがえる。一方で、「学習の見通しをもった主体的な学び」や「タブレット活用の効果的運用」などについては、肯定的評価が多数を占めつつも、一部に課題意識やばらつきが存在することも示されており、今後の改善に向けた視点を提供している。

2. 学習指導に関する分析（教職員・生徒比較）

教職員アンケートでは、「生徒の主体的な学習態度を育てる工夫をしている」「学習のめあてや見通しを示して授業を行っている」といった項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」がほぼ100%を占めており、教職員自身は日常の授業改善に強い手応えを感じていることが分かる。一方、生徒アンケートでは、「授業中に分からないことがあっても解決できている」「見通しをもって学習に取り組んでいる」と回答した生徒が多数派ではあるものの、約3割前後の生徒が肯定的に捉えきれていない状況も確認された。この差異は、教職員が意図した「めあて・振り返り」が、生徒一人一人に十分届いていない可能性、学習の進度や理解度の個人差への対応の難しさを示唆しており、今後は可視化・言語化のさらなる工夫や、通級指導教室・少人数指導との連携による補完が求められる。

3. 生徒指導・人間関係に関する分析

（1）安心・安全な学校環境

「いじめや暴力がなく、安心して過ごせる学校である」という項目については、教職員・生徒ともに非常に高い肯定的評価が示された。特に生徒アンケートでは、過半数が「そう思う」、約9割が肯定的に回答しており、本校が生徒にとって心理的に安心できる居場所となっていることが明確である。教職員アンケートにおいても同様の結果が得られており、日常的な生徒理解や声かけ、未然防止的な指導が一定の成果を上げていると考えられる。

（2）相談体制・信頼関係

「困ったときに相談できる先生がいる」「信頼できる友だちがいる」といった項目は、生徒側で特に高い評価を示した。自由記述からも、「先生と距離が近い」「困ったときに助けてくれる」「一人にならない学校であってほしい」といった記述が多数見られ、人とのつながりが学校満足度の中核を成していることが読み取れる。これは、別室対応や通級指導教室などの段階的な支援体制が、表には見えにくい形で生徒の安心感を支えている可能性を示している。

4. ICT活用（タブレット）に関する分析

タブレット活用については、教職員・生徒ともに「活用している」との評価が多数を占めたが、教職員の自由記述からは、活用の質や効果について慎重な見方も示されている。具体的には、「調べ学習や発表、課題提出などでの活用は定着しつつある」、「不登校傾向・長欠生徒にとっては有効な学習手段となっている」一方で、学習効果の検証や過度な依存への懸念も存在といった多面的な評価が確認された。これは、ICTが「万能な解決策」ではなく、個々の生徒の実態に応じた選択的活用が重要であることを示しており、今後は「個別最適なICT活用モデル」の構築が課題となる。

5. 「楽しく通える学校」に関する価値観の分析（生徒自由記述）

生徒の自由記述において最も多く見られたキーワードは、「いじめがない」「友だち」「安心」「笑顔」「自分らしさ」であった。注目すべき点は、学力や成績よりも「人間関係」「安心感」を重視する声が圧倒的であること、「全員が仲良く」ではなく「信頼できる人がいればよい」という現実的な視点が多く見られた点である。これは、学校が果たすべき役割として、学習の場であると同時に「セーフティネット」としての機能が生徒に強く求められていることを示しており、教職員アンケートの自由記述に見られる「誰もが『ここにいていい』と感じられる学校」という認識とも合致している。

6. 総合的考察

以上の分析から、本校は「安心・安全な学校風土」、「人間関係を基盤とした生徒指導」、「多様な学びを支える柔軟な教育実践」において高い評価を得ている一方、「学習の見通し・主体性の個人差への対応」、「ICT活用の質的向上」、「不登校・低学力層への継続的支援体制の明確化」といった課題も浮き彫りになった。今後は、校内支援体制の再整理と、教職員間での実践知の共有を進めることで、「安心」と「学び」を両立した学校づくりを一層推進していく必要がある。

【3】分析

学校評価アンケート（全体分析）

設問群を領域別に見ると、まず学習面（「授業中のつまずきの解決」「難しい課題への粘り強さ」「学習の見通しと振り返り」等）では、肯定的回答（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」）が一定程度示される一方で、学年によって回答の分布に差が見られる。特に「学習の見通し・振り返りを行いながら工夫して取り組む」項目は、学習の自己調整に関わる内容であり、授業内での目標設定・振り返りの定着度が学年や集団によって異なる可能性が示唆される。今後は、授業の中で「目当て→活動→振り返り」を明確に位置付け、つまずきの可視化（質問の出し方、相互に教え合う場の設定等）を通して、学習方略を身に付けさせる取組を継続することが重要である。

次に、生徒指導・人権に関わる領域（「信頼できる友だち」「相談できる先生」「いじめや暴力がなく安心して過ごせる学校」等）では、全体として肯定的回答が多く、学校生活の基盤となる安心感は概ね保たれていると捉えられる。一方で、学年クラス別の分布を見ると、項目によってはクラス間で肯定的回答の幅が見られ、学級集団の状態や日常の関係づくりの差が結果に反映されている可能性がある。特に「相談できる先生がいる」は、支援要請のしやすさや関係性の近さと関連するため、日常的な声かけ、面談、教育相談体制の周知等を通して、どの学級でも相談につながる導線を確保していく必要がある。

また、学校行事・自治活動等への参加（体育大会等への積極的参加）および「友だちと力を合わせ、いろいろなことにチャレンジできる学校」といった学校肯定感に関する項目については、肯定的回答が一定程度見られ、協働的な活動経験が学校への前向きな評価と結び付いていることがうかがえる。今後は、行事や学級活動を「やりきる経験」ととどめず、事後の振り返りで役割・協働・達成を言語化し、学級づくりや学習面の成長へ接続させることで、学校肯定感のさらなる向上が期待される。

施設設備（安全に生活できる学校）については、学校環境に対する評価として一定の肯定的傾向が読み取れる。一方、ICT（授業でのタブレット活用）については、学年により回答の分布に差が見られ、活用場面の質や頻度、授業内での位置付けが学年・教科・単元によって異なる可能性がある。今後は、タブレット活用を「使用すること」自体を目的化せず、学習の見通し・協働・振り返り（可視化、共有、自己評価）を支える手段として整理し、校内で活用のねらいと型を共有することが課題となる。

以上より、本校の学校評価は、安心・協働の基盤が概ね保たれている一方で、学習の自己調整（見通し・振り返り・つまずき解決）や相談につながる関係づくり、ICT活用の質といった点で、学年・学級差が表れやすい領域があることが示された。今後は、①学習過程（目当て・見通し・振り返り）の共通実践、②教育相談の導線強化（誰に・いつ・どう相談するか具体化）、③行事等の協働経験を学級経営・学習へ接続する振り返りの充実、④ICT活用のねらい共有、を柱として、学校全体で改善を進めていく必要がある。

【望ましい成長構造】

- ① 安心できる人間関係
- ↓
- ② 相談・質問しやすい雰囲気
- ↓
- ③ 挑戦・粘り強さの向上
- ↓
- ④ 学習の見通し・振り返り定着
- ↓
- ⑤ 達成感・自己肯定感
- ↓
- ⑥ 学校肯定感・協働意識（①に戻る）

【注意すべき停滞構造】

- ① 不安・孤立感
- ↓
- ② 相談・質問の減少
- ↓
- ③ 失敗経験の蓄積
- ↓
- ④ 学習意欲の低下
- ↓
- ⑤ 自己否定感
- ↓
- ⑥ 学校への不信感（①に戻る）

学校評価アンケート（各学年の分析）

① 1年生の分析（適応期における基盤形成の段階）

1年生の結果を見ると、「信頼できる友だちがいる」「相談できる先生がいる」「安心して過ごせる学校である」など、人間関係や安心感に関する項目において、肯定的回答が見られる。中学校生活への適応期にある1年生にとって、学級や学校への安心感が比較的安定して形成されていることがうかがえる。一方で、「学習の見通しや振り返り」「粘り強く取り組む」「分からないことを質問する」といった学習の自己調整に関する項目では、クラス間の差が比較的大きく、学習習慣の定着度にばらつきが見られる。このことから、1年生段階では、安心して人間関係を土台としながらも、学習の進め方や振り返りの方法については、今後さらに指導の積み重ねが必要な段階であると考えられる。また、人間関係が安定しているクラスほど、質問行動や粘り強さが高い傾向も見られ、安心感と学習意欲との関連性が早期から形成されていることが示唆される。今後は、この基盤を生かし、学習習慣の定着を重点的に進めることが重要である。

② 2年生の分析（安定期から自律期への移行段階）

2年生では、人間関係や学校生活の安心感に関する項目について、比較的安定した肯定的傾向が維持されている。1年次に形成された人間関係や学校への適応が、2年生段階で一定程度定着していることがうかがえる。学習面に関しても、「質問・相談」「粘り強さ」「学習の見通し・振り返り」などの項目において、1年生よりも安定した分布が見られ、学習への取り組みが習慣化しつつある様子が読み取れる。一方で、クラスによっては肯定的回答の割合に差があり、学級集団の状態や学習への意識の違いが結果に反映されている可能性がある。特に、自己調整に関わる項目は、クラス経営や授業改善の影響を受けやすい領域である。さらに、「行事への参加意欲」と「学校への肯定感」との関連も比較的明確であり、協働的な活動経験が学級の一体感や前向きな態度を支えていると考えられる。2年生段階では、安定した集団を基盤として、自律的な学習姿勢の育成をさらに進めていくことが課題である。

③ 3年生の分析（二極化が進む発達段階）

3年生では、「安心感」「相談できる教師」「友人関係」などの項目において、肯定的傾向は維持されているものの、クラス間の差が他学年よりも大きくなる傾向が見られる。進路選択や学習負担の増加に伴い、生徒間の意識や不安の程度に差が生じやすい時期であることが背景にあると考えられる。学習面では、「粘り強さ」「質問行動」「振り返り」などにおいて、肯定的回答が高いクラスと低いクラスの差が明確になり、学習意欲や自己管理能力の二極化傾向がうかがえる。また、安心感や相談体制が整っている場合、学習面の評価も高い傾向が見られ、人間関係の質が学習への挑戦性を支えていることが示唆される。一方で、不安感が強い場合、消極的な学習姿勢につながる可能性も読み取れる。このことから、3年生においては、学力面の支援だけでなく、心理的な支えや相談体制の充実が、学習の質を維持・向上させる上で極めて重要であると考えられる。

④ 全体的傾向

1年生では「安心感を基盤とした適応期」、2年生では「安定と自律の形成期」、3年生では「個人差が拡大する深化期」という発達の特徴が確認できる。また、すべての学年に共通して、「安心して人間関係」「相談できる環境」が、「質問行動」「粘り強さ」「振り返り」といった学習行動と密接に関連していることが明らかである。すなわち、人間関係の質が学習の質を支える構造が、本校の学校評価結果から一貫して読み取れる。今後は、各学年の発達段階に応じた指導を行うとともに、全学年共通の取組として、①安心感を高める学級経営、②学習過程の共通化（目当て・振り返り）、③相談につながる体制整備を柱とし、学校全体での質的向上を図っていくことが重要である。